

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	さくら市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	さくらジャンゴ・ラインハ ルト・フェスティバル実 施事業	総事業費	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000	2,600,000
		うち市町支出額	270,000	240,000	210,000	180,000	150,000	1,050,000
		うち県交付金	135,000	120,000	105,000	0	0	360,000
2		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000	2,600,000
		うち市町支出額	270,000	240,000	210,000	180,000	150,000	1,050,000
		うち県交付金	135,000	120,000	105,000	0	0	360,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	さくら市
事業名	さくらジャンゴ・ラインハルト・フェスティバル実施事業
事業主体の名称	さくらジャンゴ・ラインハルト・フェスティバル実行委員会
代表者の名称	高野 篤
事業主体の所在	栃木県さくら市喜連川4620-1
事業主体の概要	団体の目的:音楽イベント及び関連事業を通して市内外から演奏者・参加者が集まり、市内中心地の活性化を目指す。 設立年月日:平成23年9月6日 構成員等:実行委員長 高野篤(さくら市在住ギター製作)、浦上宗治(東京ホット倶楽部バンドプロデューサー)、栃十交流館登録ボランティア、文星芸術大学CG・アニメーション研究室
当該事業に係る地域の現状と課題	市内喜連川地区では人口減少や高齢化が進んでおり、地域社会の維持、地域の賑わいを生み出すことが困難になってきている。そこで、地域活性化を図るべく、市が地域住民による主体的な取組を支援する「さくら市民企画」を実施したところ、喜連川地区に住むギター職人が、1940年代のフランスを中心に活躍したギタリスト、「ジャンゴ・ラインハルト」が愛用するギターモデルを製作しており、フランス本国のフェスティバルで演奏経験のある東京ホット倶楽部バンドの一人と意気投合し、コンサートを開催する事となった。コンサートは大盛況であり、今後も市支援のもと、地域活性化に向けて事業を行っていく事となり、「ジャンゴ・ラインハルト」の名を冠したジャズの祭典を喜連川地区で開催、「喜連川の街を音楽で廻る」をコンセプトに本格的な街の魅力作りに取り組みはじめた。 この事業を行うことにより、県内外からの来訪者が増加し、演奏者も多く訪れるようになった。その為、イベント参加を通して、街の魅力を市外に向かって発信し、より効果的に交流人口を増やすことを目指している。しかし、年間を通して来訪者を確保し、交流人口を増やす為には、より一層のジャンゴの街としてのPRが必要であり、当事業を始めとした様々な取組を年間を通して行なう必要がある。
事業目的	・スウィングジャズの街さくら市として喜連川から市内外、県外、ひいては日本全国へ発信し、より一層のジャンゴの街としてPRする。 ・年間を通して来訪者を確保するため、様々な関連事業と連携を図り、交流の場を作ることで交流人口を増やす。
事業概要	【イベント内容】 平成28年度もさくら市教育委員会の文化振興事業として、官民一体のイベント形態で実施し、6回目を迎える。街全体をフェスティバル会場とし、複数施設を利用し、「喜連川の街を音楽で廻る」をコンセプトに7月9日、10日の2日間で開催する。 1日目は、サテライト会場として、喜連川地区に点在する、魅力ある明治・大正の建造物(旧喜連川興業銀行本店、旧喜連川警察署等)や各施設を利用しコンサートを実施する。街めぐりが楽しめるよう、近隣の未使用地で雑貨市(マルシェ)を実施、野外特設ステージを設置し、コンサートを開催する。ギターとバイオリンのセッション等を学べるワークショップを今年度より本格的に実施し、学びの場を提供する。市内及び北は仙台から南は広島まで約20組の公募によるバンドが出演予定。 2日目は、喜連川公民館をメイン会場とし、プロのジャズ演奏を聴くことができるコンサートを開催。世界的に活躍する東京ホット倶楽部バンドを中心に約4組出演予定。 【PR】 スウィングジャズの街として喜連川から市内外、県外、ひいては日本全国へ発信するための取組として、市内へは新聞のチラシ折り込みの他、ポスター掲示、市広報紙による広報を、市外特に県内へは道の駅や公共施設(文化会館、博物館、図書館、公民館等)にチラシを配布するとともに、ポスターを掲示しての広報を、県外へは市HPや実行委員会HPで周知するとともに、実行委員会や出演者のSNSによりイベント情報の拡散を図っている。また、配布先や数量を毎年充実させ、出演者がポスター等を使い、地元でPRを行うことで県外からの来訪者獲得につなげている。 【関連事業 ※当事業の予算外】 ①バンド講座:公民館で中学生を対象に実施し、受講生が当事業の運営スタッフとして参加している ②ギター教室:当事業の会場でもある栃十交流館で毎週開催し、フェス当日の運営スタッフとして参加している ③まちあそびクラブ:毎月小学生による駄菓子屋を実施。7月はフェスと同日に開催し、子供の来場を増やしている ④観光ボランティアとの連携:会場マップに江戸時代の喜連川の地図を用い、歴史探訪も楽しめるようにしている ⑤ジャンゴ東京フェスティバルとの連携:東京で開催のジャズイベントに協力し、当事業や、喜連川の観光PRを実施している ⑥前夜祭の開催:市内氏家地区の指定文化財建造物にて、ギターとバイオリンによるコンサートを開催。市内の別地区で開催することで、翌日のフェスティバル来場者の増加につなげる。(今年度より実施) 【後援】 ベルギー王国大使館、SAVAREZ(フランスの楽器メーカー)、さくら市国際交流協会他 【その他】 海外からの問合せも多数あり、外国人の来場実績もある。 【平成29年度】 今年度と同規模のフェスティバルを実施。関連事業についても引続き行なう。また、新規事業の開催も検討し、今年度以上の交流人口増加を目指す。 【目標】定住人口・交流人口を増やす 【KPI】年間観光入込客数 現状値(H26)700,428人 目標値(H31)1,000,000人 ホームページアクセス数 現状値(H26)671,491回 目標値(H31)740,000回 転入超過数 現状値(H26)3人 目標値(H31)毎年24人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	街全体での音楽フェスティバルの開催 ①メイン開場 1 ②サテライト開場 4 ③出演団体 20団体 ④マルシェの開催 ⑤ワークショップの開催	街全体での音楽フェスティバルの開催 ①メイン開場 1 ②サテライト開場 4 ③出演団体 20団体 ④マルシェの開催 ⑤ワークショップの開催	街全体での音楽フェスティバルの開催 ①メイン開場 1 ②サテライト開場 4 ③出演団体 20団体 ④マルシェの開催 ⑤ワークショップの開催		街全体での音楽フェスティバルの開催 ①メイン開場 1 ②サテライト開場 4 ③出演団体 20団体 ④マルシェの開催 ⑤ワークショップの開催
事業費	520,000	520,000	520,000	1,560,000	520,000
市町支出金 (ソフト事業分)	270,000	240,000	210,000	720,000	180,000
うち県交付金	135,000	120,000	105,000	360,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	250,000	280,000	310,000	840,000	340,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課 文化振興係
担当者名	野崎 祐希
電話	028-686-6621
FAX	028-686-5368
E-mail	svogaisakusvu@city.tochigi-sakura.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	さくら市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	さくらジャンゴ・ラインハルト・フェスティバル実施事業	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市町支出金	270,000	
実行委員会自主財源	250,000	前年度繰越金(4,787) ※現時点で確定済 企業協賛・広告収入・寄付金(225,000)、グッズ販売(10,213)、テナント料、(10,000) ※ 当日金額確定 ※2 グッズ販売については、仕入れ時の消費税端数分を含む
計	520,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	270,000	270,000	135,000	0	出演ミュージシャン報償費
消耗品費	30,000	0	0	30,000	ステージ装飾品等
印刷製本費	150,000	0	0	150,000	ポスター、チラシ印刷
食糧費	15,000	0	0	15,000	出演者・スタッフ弁当等
保険料	5,000	0	0	5,000	保険加入
使用料及び賃借料	50,000	0	0	50,000	音響機材レンタル料 著作権使用料
				0	
				0	
				0	
				0	
計	520,000	270,000	135,000	250,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合